

京都精華大学ギャラリーTerra-S 使用申請書 兼 展覧会経費補助申請書

年 月 日

京都精華大学ギャラリーTerra-S 館長殿 記入例

私は当展覧会の責任者(ディレクター)として、下記の要領で展覧会を開催するため、京都精華大学ギャラリーTerra-Sを使用したく、「展覧会企画書」、「展示プラン図」、「作品・作家資料」及び「事業収支計画書」を添えて申請します。また、下記展覧会を開催するために大学からの経費補助を希望します。展覧会終了後には、「実施報告書」と「経費報告書」をもって大学に報告します。

責任者 (ディレクター)	フリガナ 氏名	在学生	教職員	卒業生
	セイカ タロウ	学 年(3 年生)		
	精華 太郎	所 属(○○学部○○専攻○○コース)		
	電話番号 (000-0000-0000)	学籍番号(000000000000)		
		その他 ()		
	住所 〒000-0000 京都府京都市○○○○○○○○○○○○○○○○			
	メールアドレス ○○○○○○○@○○○○○.○○			
展覧会主催者名	○○○○○○○○○○			
共催者名 (該当者のみ)	○○○○○○○○○○			
展覧会名	○○○○○○○○○○			
希望会期 (搬入・搬出日を含む)	2026 年 2 月 27 日(金)～3 月 7 日(土) 搬入 2/25, 26 搬出 3/9			
展覧会趣旨	画家の後藤靖香氏(京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース卒業)の個展。本展のために制作 予定の新作一点と、過去の代表作数点で展示を構成します。後藤氏は、祖父や大叔父など親族の戦争体験に基づき、その過酷な時代を生き抜いた人々を描いた作品で注目を集めました。その後、大阪の造船所跡地や広島の上原爆投下目標付近にあった小学校など、展示 場所に応じて当時の人々の葛藤や営みをテーマにした作品を手掛けています。共通するのは、有名無名を問わず、その時代を懸命に生きた人々の姿を描くことにあり、それが後藤の作品の真のテーマであると言えます。(ギャラリーフロール 2016 年度後期企画展 企画書より抜粋)※詳細は別紙			
ギャラリー利用区画	A 区画 ・ B 区画 ・ 全区画			
補助金を希望する場合	(補助金の主な使途を以下に記入すること) ・チラシ・ポスター制作 ・デザイン費用 ・作品輸送費	希望金額:	100,000	円
監修担当専任教員 署名欄 (在学生、非常勤講師のみ)	本申請展の監修(内容は下記)を担うことに同意します。 ・ <u>展覧会の内容を把握し、必要に応じてサポートを行う。</u> ・ <u>展覧会の質を担保し、安定した展覧会運営を行えるように助言等を行う。</u> 精華 花子			